

# 新しい頂点

つねに新しい提案をしてきたレジェンドは、Hondaのチャレンジ精神の象徴だと思います。だからこそ、既存の価値観に満足できない先進的な人々の共感と呼び、根強く支持されてきたのです。

そう断言できるのは、私自身が歴代を継いできたレジェンドファンのひとりだからです。新しいレジェンドに触れるたび、その革新に驚かされ、奥深い走り味に「いつまでも運転していたい」という衝動を抑えきれずにいました。New レジェンドの開発責任者を務めることは、私にとって大きな喜びであると同時に、史上最高のレジェンドをつくりあげるといふ重責へのチャレンジでもありました。

開発にあたっては、人間研究をはじめとする開発ノウハウを受け継ぎながら、静粛性、安全性、高級感、機動性といった、歴代レジェンドが極めてきた価値をより高い水準に引き上げ、さらに、かつてないオン・ザ・レール感覚を追求することで、お客様のところに深い感動をもたらす最上のドライバーズカーをめざしました。

品位に満ちたスタイリングと外界の騒音を忘れさせる快適な室内。スポーツカーをも凌駕する加速力と操縦性。そして、運転するほどに感じる昂ぶりと充足。ここに、Hondaのクルマづくりの集大成とも言えるフラッグシップセダンを完成させることができたと考えています。新しい伝説を、ぜひ、私たちとともに創造してください。

開発責任者 青木 仁



青木 仁(あおき ひとし)  
(株)本田技術研究所 主任研究員

1984年、(株)本田技術研究所入社。車体電装設計、北米アコード ハイブリッドの電装PL、LPL代行、LPLを経て、2007年、北米アキュラRLXのLPL代行を担当。今回、New レジェンドのLPLを務める。趣味はサーキット走行、スキー。愛車はインテグラ TYPE R、エリシオン。